



発行者 楽しい株式会社

住 所 北九州市若松区向洋町 10 番 1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2009年新年号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

# 謹賀新年



旧年中は格別のお引立てを賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何卒倍旧のご愛顧のほど、お願い申し上げます。

昨年も多くのハチドリが誕生しました。今年ももっと多くのハチドリが誕生して、みんなでひとしずくを落とし、循環の輪(和)を拡げていけるのを楽しみにしています。

今年「丑」。牛歩のごとく、牛のよだれのごとく……競争に勝って拡大急成長を目指すより一歩一歩着実に前進を、ヒット商品を生み出すより持続可能な社会の仕組みづくりをと思い、せっせとひとしずくずつ落としていきます。そんなハチドリの仲間がたくさんできますように。今年もよろしく願いいたします。

…親ハチドリのクリキンディより



## 2050年

その時、私達はこの世にいないかも知れません。しかし、私達の子供や孫は生きています。もしかすると私達も生まれ変わってこの世にいるのかも知れません。20世紀の後半50年、とても便利な時代になりその恩恵をずい分授かりました。しかし失ってしまったものがあまりにも大きかったのもこの50年でした。

そのツケが今回ってきており、2050年までに解決しなければならないとするならば何をしなければならないのか？ この課題はあまりにも大きく難しいのですが、立ちつくすのではなく、できることを一つずつ実行していく、それも大事なことだと思います。

「ドラエモン型」社会システム(コンパクトで多機能)か、「サツキとメイ型」社会システム(トトロの世界のように自然との共生)か、2050年のあるべき姿を見据えながら持続できることをできることから実行していきます。

ところで、2月14、15日環境省が主催するストップ温暖化大作戦温暖化防止「一村一品・知恵の輪」減CO<sub>2</sub>(げんこつ)大作戦全国大会が開催されます。実は昨年11月福岡県の最優秀賞・県代表として選定して頂きました。ハチドリの仲間の代表として全国大会に参加して参ります。

もったいない！ 食べ残しと使用済割り箸

げんこつ  
農地に還して減CO<sub>2</sub>

～ゴミも経費もCO<sub>2</sub>も減って楽しい輪(和)

こんなキャッチコピーでPRして参ります。皆様の応援を宜しくお願い致します。

## お大師様に呼ばれて

和歌山県の世界遺産、宗教環境都市高野山、その高野町に新たなハチドリが生まれました。



高野町は人口4,000人、その内1,000人がお坊さんです。高野町には52の宿坊があり、その宿坊に宿泊される方が年間31万人、日帰り訪問者が130万人、世界遺産指定以来、外国からの訪問者が急増しているそうです。

そこで排出される食品廃棄物は年間約1,000トン、名産品ごま豆腐や、あの有名な薬「陀羅尼助」の原料カスなども含まれます。現在は町の所有する焼却炉ですべて焼却処理されています。ところが、その焼却炉が老朽化により今年9月で、操業停止が決まっています。そうするとどうなるのか？約1時間かけて高野山



のふもとの橋本市まで毎日運ばなければならないのです。

食品廃棄物をその場で減らし、農地へ還すリサイクル、経費も減らし、浮いた経費で地域内経済活性化の為に使う、この活動でCO<sub>2</sub>も減らす。こんなプロジェクトを昨年12月にスタートさせました。

高野山奥の院にある弘法大師ご廟に度々参拝をしていましたが、お大師様にお声をかけて頂き、高野山にハチドリの仲間を作って頂いたようです。ゴミを運ぶより、みんなでしずくを運ぶ、そんな活動を行ってまいります。



## 「変」から「解」、そして「曙」

昨年の漢字は「変」。食の安全の問題に始まり、原油高騰、相変わらず続く地震、首相の相次ぐ交代、そして世界中を大混乱に陥れた金融市場の大混乱とその後の世界同時不況……本当に色々なことが起こりました。それこそ「変」な1年でした。

地球が誕生して以来、地球は変わり続けました。人類も変わり続けました。政治も、経済も、生活も、言葉も、価値観も、変化してきました。この世で変わらないことが「変」なくらいです。問題はどのように変わるかでしょう。だんだんと良くなっていくのか、劣化し腐って滅びていくのか、一気に崩壊するのか、新しく芽生えるのか。世の中自然淘汰の働きがあるのですが、何とか良くなるように変わっていきたくしたいものです。

冬至を境に、12月に陰陽の本質的変換が起こります。2月3日の節分から「氣」が変わります。今年のキーワードは「解」だそうです。劇場で演劇を見ていると突然照明が付き、暗くて見えなかった仕組みやしかけがすべて見えてしまう。良いものも悪いものも「解明」され、今までの社会が一旦「解散」になり、平らな状態から新しいリーダーシップが世の中を作り変え始めるとき。そして今年作り替えがスタートすれば来年は「曙」の年だそうです。

変 解 曙

## ニュース

ハチドリの仲間が千葉県松戸市で日量最大 5 トン処理の食品残渣リサイクルセンターをせっせと作っています。

松戸市の一般廃棄物処分業の認定を頂き、これにより年間 1800 トンの食品残渣をリサイクルし、処理費用は 12 円 / kg を実証していきます。

またこのリサイクルシステムからは CO2 の排出をゼロにしていくカーボンフリーにも取り組みます。

詳細は次月以降のハチドリ通心(信)でお伝えします。



急ピッチで準備が進む  
新松戸リサイクルセンター

## あとがき

南米に伝わるハチドリの物語でクリキンディは「私は私にできることをしているだけ」と言っています。

今までのブラックホールがパット明るくなって見えてくる時ですので、足元がよく見えてくることになります。自分の立ち位置(立場)をよく見極め、進んで行く道筋をよく見つめていきます。

依存するより支え合い、  
上下ではなく横に繋がり、  
挑むのではなくありのままで、  
疑うのではなく信じ合う、  
恨むのではなく敬い合い、  
説得するのではなく話し合い、  
競争するのではなく共存する。

そんな思いで、環境と経済と福祉が調和をする循環の輪(和)を作って参ります。  
どうぞ宜しくお願い致します。最後までお付き合い頂き有難うございました。

「ハチドリのひとしずく」いま、私にできること  
この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていました。

森の生きものたちはわれ先にと逃げて行きました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは、

いったり来たり、くちばしで水のしずくを

一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい

何になるんだ」といって笑っています。

クリキンディはこう答えました。

「私にできることをしているだけ」

ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧頂けます。

URL : [www.fun-c.jp/](http://www.fun-c.jp/) (松尾康志が担当しました。)